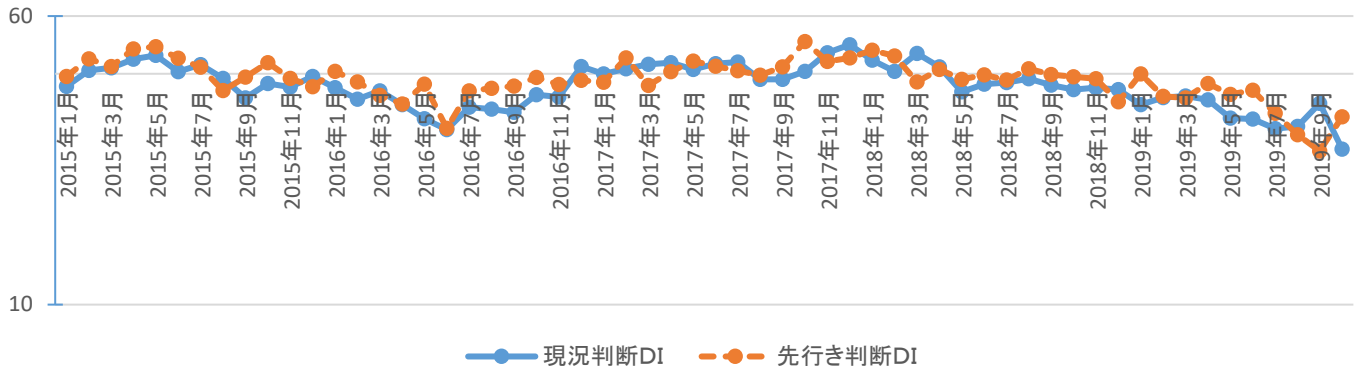


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2019年10月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計 動向 関連	やや良	《来客数の動き》景気や収入は良くなっているわけではないが、客の消費動向は下がっていない。食品持ち帰り時の据置きとキャッシュレス還元が下支えしている。【コンビニ（企画担当）】
		不変	《お客様の様子》新築戸建て住宅、新築マンション共に横ばいである。ただし、リフォーム工事や大規模改修工事等は、来年にかけても現場、見積りが多い。【住関連専門店（営業担当）】
		やや悪	《来客数の動き》今月は消費税引上げがあり、出だしに客足が止まった。天候不順もあり厳しい1か月となった。ここからの反動に期待したい。【一般レストラン（スタッフ）】
	企業 動向 関連	やや良	《受注量や販売量の動き》生コン業者は、仕事が入り忙しいと言っている。【行政書士】
		不変	《取引先の様子》消費税が増税となったが、取引先では極端な買い控えはない。また、設備投資の予定もほとんどなく変わらない状況が続いている。【会計事務所（職員）】
		やや悪	《取引先の様子》取引先の製造品目の変化や世代交代のサイクルが短くなっている。立ち上がりからピークを迎える期間が短く、すぐ次の試作に入るため、当社でも素早い対応が求められるので、なかなか利益が出にくい。【窯業・土石製品製造業（社員）】
	雇用 関連	やや良	《求人数の動き》外国人労働者、外国人技能実習生へのニーズも高まり、積極的な採用活動が見受けられる。【人材派遣業（営業担当）】
		不変	《求職者数の動き》新規求職者数が前年同月より8%強増加しているが、内訳は、定年退職者及び自己都合退職者の増加で、事業主都合退職者は減少している。【職業安定所（所長）】
		やや悪	《求人数の動き》派遣の求人数、求職数共に前年を上回っているが、地域差が顕著で、都市部に仕事が多いため、求職者が郊外から都市部へ就業希望場所を拡大若しくは移動する傾向がみられる。【人材派遣会社（営業担当）】
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計 動向 関連	やや良	年末年始需要があるため景気は良くなる。単価は上がっているの、買上点数を伸ばすことができれば良い。【スーパー（店長）】
		不変	今後もそこまで明るい見通しは立たないが、新型車種やマイナーチェンジの車種があるので、多少は持ち直していく。【乗用車販売店（販売担当）】
		やや悪	消費税増税の影響が少しずつ現れ、販売量に影響しそうである。増税前の買いだめ等は、世間が言うほど動いておらず、無駄な物を無理して買いだめはしていない。【スーパー（商品管理担当）】
	企業 動向 関連	やや良	プラスチック原料の価格が下がり、収益は良くなる見込みである。【化学工業（営業担当）】
		不変	引き合いもさほど増えておらず、数量の増加は見込めない。価格面では引き続き競争が続いている。【金属製品製造業（経営者）】
		やや悪	贈与税を活用したい客や住宅を計画的に考えている客の動きは見込めるが、大手自動車メーカー系企業が、米中貿易問題によって不安となり慎重姿勢なので、当エリアの客の動きは悪くなる。【建設業（役員）】
	雇用 関連	やや良	中国向けの自動車輸出には良くなる動きはないが、欧州向けは上向きである。国内販売についても、メーカーによって違いはあるが、若干の上向き傾向にある。【アウトソーシング企業（エリア担当）】
		不変	有効求職者の推移をみると、前年同月や前月と比較して増加しているが、前々月との比較では減少しており、増減を繰り返している。窓口での相談件数は、就職氷河期世代の年齢層では減少がみられることから、大きな変化がなければ今後も同様の動きとなる。【職業安定所（職員）】
やや悪		産業機械、工作機械や電子部品業界で経営環境が厳しくなってきたため、関連会社や取引企業にも採用動向に影響を及ぼす可能性がある。【民間職業紹介機関（営業担当）】	